

ほほ月刊 んだもしたん

(諸県弁の「まあどうした事でしょう」)

発行 有限会社ナツブ
編集責任 池田誠
発行日 平成二十八年十二月
問合せ先 〇九八五五一七四〇九

新規事業 大型LEDビジョン

2017年の新事業として大型LEDビジョンを行う事になりました。縁あってこのメーカーから大型LEDビジョン事業をやってみないか?とお話を頂き、弊社としても他社との差別化や強みを生かす事業を探しておりました。印刷業から看板事業へと業務を拡大しておりありますが、看板業の専門職は強く苦戦していましたので、弊社にとってまさにこの事業は渡りに船の状況でした。このビジョン事業は施工業務が不要で天気にも左右されず、社内で制作・編集・放映・修正まで遠隔操作で行へ、弊社の強みと機動力をご提供することが出来ます。

ネットが華々しく活躍し、どう消費者に見つけてもらいたい? 探してもらおうか? 仕掛けをどう創るか! ソフトを操るのは日進月歩で予算と時間が必要で大変です。この大型LEDビジョンは、予算を掛けずにスピーディーに広告を打ちたい広告主に打って付けです。このビジョンの設置場所は、江平五差路の交通量の多い場所にあるので効果が大きいと期待できます。また、地上高6mの低い位置なので視認性も良く、高精細のLEDパネルを採用していますので画面も鮮やかです。価格帯も広告主の内容と予算に合わせて6タイプのプランをご用意しております。



(中田)

また、MRTと宮日新聞などの地元メディアとタイアップしたりリアルタイムな記事、天気予報なども放映を予定しており、無料放映として地域起こしの活動やポランティア

の活動放映もできます。弊社の5Fに事務所がある、JFC宮崎「宮崎にJリーグをつくらう」をスローガンに頑張っているチームもこのビジョンで応援していきたいと思っています。来年は、この事業を弊社の一つの柱として、印刷・屋内ディスプレイPOP・看板製作・屋外大型LEDビジョンまで幅広くご提案できるとの総合広告会社として頑張っていきたいと思っておりますので、応援を宜しくお願いします。

また、MRTと宮日新聞などの地元メディアとタイアップしたりリアルタイムな記事、天気予報なども放映を予定しており、無料放映として地域起こしの活動やポランティア

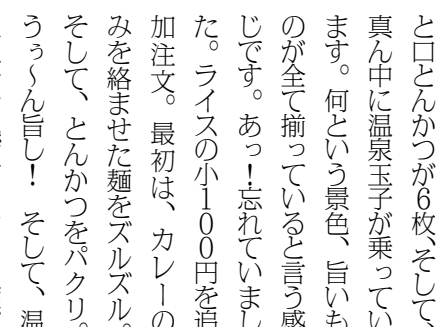
ラン子野郎 見参!

「ラーメンとカツカレーのどっちが食べたい?」の巻

ラン子にラーメンとカツカレーのどっちを食べたいと聞かれたとちうにしますか? 自分はどちうかと言うとラーメンかなと思うのですが、どうしても両方食べたいという時にお勧めなのが、この『のり吉(きち)ラーメン』さんです。

宮崎南バイパスから宮崎空港まで下りてパチンコのランドマークの駐車場を目印に行きますが少々分かり辛い場所にありますのでナビを使うか、のぼり旗が出ているのでそれを目印に行きます。

建物はずレイト音きのお世辞にも綺麗と言えない外見でとても心配になると思いますが、いざ、入店。12時30分に到着したら満席で、レジ横



ラン子にラーメンとカツカレーのどっちを食べたいと聞かれたとちうにしますか? 自分はどちうかと言うとラーメンかなと思うのですが、どうしても両方食べたいという時にお勧めなのが、この『のり吉(きち)ラーメン』さんです。

宮崎南バイパスから宮崎空港まで下りてパチンコのランドマークの駐車場を目印に行きますが少々分かり辛い場所にありますのでナビを使うか、のぼり旗が出ているのでそれを目印に行きます。

ラーメンの麺は少し固めのストレート麺で、スープは醤油豚骨のスープです。安心できる味ですが、何と言ってもこのチャーシューはとっても美味しい。最近流行のトロトロ口のチャーシューではなく、昔ながらのしっかりと肉質で食べると良い肉を使っているのがわかります。

そして、自分の注文したカツカレーラーメンがこちら、

空前絶後の卓球ブーム到来か！

あの白熱の、リオオリンピックが終わり、すでに3ヶ月すぎました。テレビの前で、手に汗握る日々の記憶も、まだまだ新しいものだと思います。

今回のオリンピックで、男女卓球日本チームは大活躍でした。この活躍のおかげで日本中が卓球ブームになっていくみたいです。

宮崎でも、小学生や中学生、素人の一般の方や学生時代に卓球経験者だった方達が、卓球教室や卓球クラブにごぞつて入部希望で来るそうですが、すでに満杯で入部を断っている所もある多いそうです。

私達の学生時代は、卓球は根暗の人がやるスポーツと言われたものでした。現在はピンポン玉も大きくなり、ラリーも続くので見ても面白いです。ユニホームやシューズもカラフルになり、昔



(誠)

いんちきクワイマーが行く！ 「手つかずのままの自然 三方岳」編

三方岳。ずっと気になっていた山でした。九州大学の演習林として保護されており、杉や松の植林も禁止されたまま。手つかずの原生林とは、はたしてどのようなスケールなのか？ 想像を膨らませていました。

椎葉と美郷の境界にある山なので、西米良経由で北上する事にします。自宅から二時間ちょっとでした。離合のきびしいクネクネ道。大河内方面へと進むと、ほとんく小学校があります。生活の匂い。小さな商店やガソリンスタンドの集落。そして峠を越え、ようやく登山口に着きました。

時計は8時半。さて、左側の尾根から取りつきます。とにかく最初は木の根をふみながら、急登がつづきます。足元は、柔らかい土壌に、クネクネと木の根が這っている。意外にラクに歩けます。急登をゆっくり歩くので、必然、歩幅も小さくなり、足音をほとんど立てない状態です。ポーンとしたインシシが、こっちに気がつかないで、いきなり遭遇してしまいかもし

ぐんと登りがきつくなり、少しづつ近づいてくる山頂を見ながらゆっくりと歩きます。山頂は、相撲をとれるくらい

の広さ(どんな広さやねん?)で、南と西の眺望が開けています。ちょっと脇に歩くと米良三山がくっきりと見えます。フナ、ヒメシヤラ、コウヤマキといった巨木に圧倒されます。

このまま歩いて来た稜線を見つつ、ゆっくりと下ります。岩場もロープも梯子も徒渉もなく、まったく手をつかわない、ただただ、歩くだけの山でしたが、すごく楽しめる山でした。(賢)



編集後記

今年もいよいよ残りわずかになってしまいました。あわただしい師走となり、皆様も何かとご多用のごと存じます。12月号が今年最後の、ん・だもしたんの発刊になります。私も定年退職に伴い、編集後記を書くのは、これ以後になりません。

短い間でしたが読者の皆様、どうも有難うございました。

毎月、記事が上がって来て最後に編集後記を書く作業でしたが、どんな事を書けば編集後記となるのかわからな



(誠)